

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	地域療育支援事業所 第2はまゆう療育園 (重心以外/児童発達支援)
------	--------------------------------------

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 29名

回収数 27名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 ことばの教室、からだの教室を行うために十分な広さだと思いますか。	27					室内の凸部へクッション保護を施してケガ防止に努めております。使用する教材や器具の点検も毎月行っております。	
	2 職員の数は、療育に適当な人数だと思いますか。	25	2			「ことばの教室」希望の知人から、空き枠が無く利用出来ないと聞きました。	リハビリ専門職（言語聴覚士、作業療法士）を含む2名以上の職員配置で基準に沿った配置数になっております。一人の利用回数を4回以内におさえて、出来るだけ多くの方に利用いただけるよう調整してまいります。	
	3 室内は、構造化（こどもが理解しやすい）された環境になっていると思いますか。また、設備（バリアフリーなど）は子供の特性に応じたものになっていると思いますか。	23	4			階段が少し高いので、怖いときがあります。	学習の場という意識が持てるよう、室内装飾を極力抑えた配慮をとっております。また、バリアフリー化として2階への移動にエレベーターも完備しております。	
	4 室内は、清潔で心地よい環境になっていると思いますか。また、こどもの特性・状況に合った配置になっていると思いますか。	26	1			きれいにされていると思います。	感染対策として療育前後に室内、教材、機材の消毒を徹底しております。また、備品の整理整頓に勤め、走り回ってもケガをしない配慮を行っております。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを充分理解し、こどもの特性に応じた「専門性のある支援」になっていると思いますか。	25	2				子どもの特性に合わせ専門職を配置し療育支援を行っております。保護者様にも参加して頂き「母子療育」として一緒に課題の検証や家庭に帰ってからの振り返りが出来るアドバイスも行っております。	
	6 実際の支援内容は、公表の支援プログラムに沿っていると思いますか。	26			1		支援プログラムはHPに掲載しております。プログラムの内容に沿った支援を実施しております。	
	7 こどものことを充分理解し、こどもと保護者の「ニーズや課題」を客観的に分析した個別支援計画（児童発達支援計画）になっていると思いますか。	26	1				保護者からの要望や専門職の意見を客観的に分析・判断し立案するようにしております。	
	8 計画書は、ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のうちの「本人支援」「家族支援」「移行支援」に沿って必要な項目が適切に選定され、また具体的に支援内容を設定していると思いますか。	26	1				「本人支援」「家族支援」「移行支援」の中から、子どもの特性にあった項目を選択し、具体的に設定するようにしております。	
	9 実際の支援内容は、「児童発達支援計画」に沿っていると思いますか。	27					計画書に沿って支援（療育）を行っております。	
	10 事業所の活動プログラムは、マンネリ化しない工夫がされていると思いますか。	26	1			成長に応じて課題を準備して下さっています。	「飽きやすい」という子どもの特性を考慮し、常に新しい情報や工夫を取り入れて療育を行っております。	
保護者へ	11 母子（個別）療育は、専門職が保護者と児童に対しマンツーマンにて集中出来る環境にて実施していますが、集団活動（ほかのこどもと一緒に活動する機会）も必要と考えますか。	17	6	2	2	個別の方が集中して能力を発揮しやすいと思います。子供の個性により必要な場合もあると思います。	集団指導を行っている事業所との併用利用の推奨など、子どもの特性や保護者要望を考慮した柔軟な対応を心掛けたいと思います。	
	12 「運営規程」「支援プログラム」「利用者負担等」について、丁寧な説明がありましたか。	25		2			利用開始（契約）時に実施しております。今後は園内掲示など再度保護者様への周知を図ってまいります。	
	13 支援内容の説明の際は、「個別支援計画書」を示しながら行われましたか。	26				1		支援内容は、「計画書（案）」と一緒に確認しながら丁寧に説明するようにしております。
	14 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族参加型の研修会の情報は施設内に掲示していますが、周知出来ていますか。	18	3	1	5			児童発達支援センターが行っているペアトレ等の情報は玄関へ掲示しておりますが、必要に応じて個別に案内するよう改善してまいります。
	15 日頃から「こどもの健康や発達の状況」などについて、スタッフと共通理解ができていますか。	24	2			1	訓練員一人ひとりの理解が乏しいように感じました。信頼関係を築く前から事前に子供の必要な情報などは把握して欲しいと想いました。	保護者や担当相談員からの聞き取りにより、事前に子どもの状況を把握しておりますが、より信頼して頂けますよう今以上に努力してまいります。
	16 計画の見直しや子育てに関する助言等は、定期的に行われていると思いますか。	25	2					療育内での相談のほか、時間外の空いた時間を利用した相談対応も行っております。また、半年ごとに計画の見直しも行ってまいります。
	17 スタッフの支援は、「利用者・保護者に寄り添ったもの」となっていると思いますか。	27						常に保護者様の心情に寄り添った対応を心掛けております。

の 説 明 等	18	保護者同士の交流の機会（保護者会など）の希望がありますか。	4	7	13	3	私は必要とは思いませんが、似た境遇の方との話が出来る機会ありがたいと考える人もいます。	各保護者の都合により、日程の調整が難しい課題があります。地域では「親の集い」という同じ子育ての悩みを持った親の集まりがあるため、そちらの案内も積極的に行っていこうと思います。
	19	家族からの「相談・申入れ」に対し事業所は適切に対応していると思いますか。	26			1		相談・申入れについては、随時受付対応し早めの回答を心掛けております。苦情については複数の受付窓口の情報が載ったポスターを園内に掲示し、併せて玄関には投書箱を設置し対応しております。
	20	子どもや保護者との「意思疎通や情報伝達」のため、事業所は丁寧な説明・対応などの配慮を行っていると思いますか。	26	1				先入観や思い込みでなく、子どもの行動前後の様子からその子の思いを読みとる配慮を行っております。
	21	ホームページやLINEなどでは、行事予定・活動の様子・自己評価結果・連絡など適切な情報提供をされていると思いますか。	17	1	1	8		LINEでの連絡活用率はほぼ100%の状況です。個別活動のため集団での行事等はあまりありませんが、自己評価の結果などはホームページにて毎年公表しております。
	22	「個人情報」は、十分に留意した取り扱いをされていると思いますか。	24				3	データーや個人情報の書類は、室内を施錠管理して対応しております。また、定期的な守秘義務に関する職員研修を行っております。
非 常 時 等 の 対 応	23	「事故防止」「緊急時対応」「防犯」「感染症対応」などのマニュアルは、保護者に周知出来ていると思われますか。	24	3				利用開始（契約）時に説明しておりますが、今後は更新時にも周知・説明してまいります。
	24	防災避難訓練は月に2組ずつ参加していただいて、定期的にホームページにて公表しております。周知出来ていると思いますか。	14	5	3	5	ホームページを見る機会がありませんでした。	計画に沿って訓練を行っております。ホームページの活用率が低いようなので、今後は周知活動に取り組んでまいります。
	25	サービス提供中の事故（ケガ）防止、室内外の環境の安全について日々点検・補修により危険を排除しております。保護者へ周知出来ていると思いますか。	19	5			3	安全に対する取り組みをおこなっておりますが、今後はそれらの保護者への周知方法など検討してまいりたいと思います。
	26	事故等の際、速やかに連絡・状況説明が出来る体制をとっておりますが、保護者へ周知されていると思いますか。	21	2	1	3		母子療育（保護者同席）のため、連絡・状況説明などの機会はありませんが、事故等マニュアルなどについて今後周知していきたいと思います。
満 足 度	27	子どもは「安心感」をもって通所していますか。	26	1				母子療育として保護者同席のため、子どもさんは安心して課題に取り組んでいるようです。
	28	子どもは通所を「楽しみに」していますか。	23	4			通所にも慣れて楽しく通っています。子供本人が毎回療育を楽しみにしています。	「楽しむこと」を基本に、療育を行っております。
	29	事業所の支援（療育）に満足されていますか。	27				出来ること・言葉が増えてきました。とても感謝しています。	成果には個人差もありますが、療育の計画は子どもの「達成できる範囲」を意識した設定としております。